

June21,2013

	レベル	Pre-A1	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2	B2.1	B2.2	C1	C2
理解	聞くこと	ゆっくりはっきりと話されれば、日常の身近な単語を聞きとることができる。	当人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、「立て」「座れ」「止まれ」といった短い簡単な指示を理解することができる。	趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や自分の家族・学校・地域などの身の回りの事柄に関連した句や表現を理解することができる。	ゆっくりはっきりと放送されれば、公共の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンスを理解することができる。	スポーツや料理などの一連の行動を、ゆっくりはっきりと指示されれば、指示通りに行動することができる。	外国の行事や習慣などに関する説明の概要を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	自然な速さの録音や放送(天気予報や空港のアナウンスなど)を聞いて、自分に興味のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる。	自然な速さの標準的な英語で話されていれば、テレビ番組や映画の母語話者同士の会話の要点を理解できる。	非母語話者への配慮としての言語的な調整がなされていなくても、母語話者同士の多様な会話の流れ(テレビ、映画など)についていくことができる。	構成が明瞭ではなく、事柄の関係性が暗示されているだけで明示的になっていないときでも、長い話を理解できる。また、特別に努力しなくてもテレビ番組や映画を理解することができる。	生であれ、放送されたものであれ、母語話者の速いスピードの発話でも、話し方の癖に慣れる時間の余裕があれば、どんな種類の発話でも、話し方の癖に慣れる時間の余裕があれば、どんな種類の話し言葉も難無く理解することができる。
		英語の文字が発音されるのを聞いて、どの文字かわかる。	日常生活に必要な重要な情報(数字、品物の値段、日付、曜日など)を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞きとることができる。	日常生活の身近なトピックについての話を、ゆっくりはっきりと話されれば、場所や時間等の具体的な情報を聞きとることができる。	(買い物や外食などで)簡単な用をたすのに必要な指示や説明を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	学校の宿題、旅行の日程などの明確で具体的な事実を、はっきりとなじみのある発音で指示されれば、要点を理解することができる。	視覚補助のある作業(料理、工作など)の指示を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞いて理解することができる。	自分の周りで話されている少し長めの議論でも、はっきりとなじみのある発音であれば、その要点を理解することができる。	はっきりとなじみのある発音で話されれば、身近なトピックの短いラジオニュースなどを聞きとることができる。	トピックが身近であれば、長い話や複雑な議論の流れを理解することができる。	自然な速さで標準的な発音の英語で話されていれば、現代社会や専門分野のトピックについて、話者の意図を理解することができる。		
	読むこと	口頭活動で既に慣れ親しんだ絵本の中の単語を見つけることができる。	「駐車禁止」、「飲食禁止」等の日常生活で使われる非常に短い簡単な指示を読み、理解することができる。	簡単なポスターや招待状等の日常生活で使われる非常に短い簡単な文章を読み、理解することができる。	簡単な語を用いて書かれた、スポーツ・音楽・旅行など個人的な興味のあるトピックに関する文章を、イラストや写真も参考にしながら理解することができる。	簡単な語を用いて書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの、説明文を理解することができる。	簡単な英語で表現されていれば、旅行ガイドブック、レシピなど実用的・具体的で内容が予想できるものから必要な情報を探することができる。	学習を目的として書かれた新聞や雑誌の記事の要点を理解することができる。	インターネットや参考図書などを調べて、文章の構成を意識ながら、学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。必要であれば時に辞書を用いて、図表と関連づけながら理解することができる。	現代の問題など一般的関心の高いトピックを扱った文章を、辞書を使わずに読み、複数の視点の相違点や共通点を比較しながら読むことができる。	記事やレポートなどのやや複雑な文章を一読し、文章の重要度を判断することができる。綿密な読みが必要と判断した場合は、読む速さや読み方を変えて、正確に読むことができる。	構成が明瞭ではなく、事柄の関係性が暗示されているだけで明示的になっていないときでも、長い話を理解できる。また、特別に努力しなくてもテレビ番組や映画を理解することができる。	生であれ、放送されたものであれ、母語話者の速いスピードの発話でも、話し方の癖に慣れる時間の余裕があれば、どんな種類の話し言葉も難無く理解することができる。
		ブロック体で書かれた大文字・小文字がわかる。	ファーストフード・レストランの、絵や写真がついたメニューを理解し、選ぶことができる。	身近な人からの携帯メールなどによる、旅の思い出などが書かれた非常に短い簡単な近況報告を理解することができる。	簡単な語を用いて書かれた、挿絵のある短い物語を理解することができる。	簡単な語を用いて書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	生活、趣味、スポーツなど、日常的なトピックを扱った文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。	ゲームのやり方、申込書の記入のしかた、ものの組み立て方など、簡潔に書かれた手順を理解することができる。	平易な英語で書かれた長めの物語の筋を理解することができる。	難しい部分を読返すことができれば、自分の専門分野の報告書・仕様書・操作マニュアルなどを、詳細に理解することができる。			

June21,2013

	レベル	Pre-A1	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2	B2.1	B2.2	C1	C2
日本語	スピーチ	基礎的な語句を使って、「助けて!」や「～が欲しい」などの自分の要求を伝えることができる。また、必要があれば、欲しいものを指さしながら自分の意思を伝えることができる。	なじみのある定型表現を使って、時間・日にち・場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。	基本的な語や言い回しを使って日常のやりとり(何ができるかできないかや色についてのやりとりなど),において単純に答えることができる。	趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。	順序を表す表現である first,then,next などのつなぎ言葉や「右に曲がって」や「まっすぐ行って」などの基本的な表現を使って、単純な道案内をすることができる。	簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を較べたりすることができる。	身近なトピック(学校・趣味・将来の希望)について、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる。	病院や市役所といった場所において、詳細にまた自信を持って、問題を説明することができる。関連する詳細な情報を提供して、その結果として正しい処置を受けることができる。	ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について議論することができる。	一般的な分野から、文化、学術などの、専門的な分野まで、幅広いトピックの会話に積極的に参加し、自分の考えを正確かつ流暢に表現することができる。	言葉をことさら探さずに流暢に自然に自己表現ができる。社会上、仕事上の目的に合った言葉遣いが、意のままに効果的にできる。自分の考えや意見を正確に表現でき、自分の発言を他の話し手の発言にうまくあわせることができる。	いかなる会話や議論でも無理なくこなすことができ、慣用表現、口語表現をよく知っている。自分を流暢に表現し、細かい意味のニュアンスを正確に伝えることができる。表現上の困難に出会っても、周りの人に気づかれないように修正し、うまく纏うことができる。
		一般的な定型の日常の挨拶や季節の挨拶をしたり、そうした挨拶に回答したりすることができる。	家族、日課、趣味などの個人的なトピックについて、(必ずしも正確ではないが)なじみのある表現や基礎的な文を使うことができる。	スポーツや食べ物などの好き嫌いなどのとてもなじみのあるトピックに関して、はっきり話されれば、限られたレパートリーを使って、簡単な意見交換をすることができる。	基本的な語や言い回しを使って、人を誘ったり、誘いを受けたり、断ったりすることができる。	補助となる絵やものを用いて、基本的な情報を伝え、また、簡単な意見交換をすることができる。	予測できる日常的な状況(郵便局・駅・店など)ならば、さまざまな語や表現を用いてやり取りができる。	個人的に関心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を多様に用いて、社交的な会話を続けることができる。	駅や店などの一般的な場所で、間違った切符の購入などといったサービスに関する誤りなどの問題を、自信を持って詳しく説明することができる。相手が協力的であれば、丁寧に依頼したり、お礼を言って、正しいものやサービスを受けることができる。	母語話者同士の議論に加われないこともあるが、自分が学んだトピックや自分の興味や経験の範囲内のトピックなら、抽象的なトピックであっても、議論できる。	幅広い慣用表現を使って、雑誌記事に対して意見を交換することができる。		
	発表	簡単な語や基礎的な句を用いて、自分についてのごく限られた情報(名前、年齢など)を伝えることができる。	基礎的な語句、定型表現を用いて、限られた個人情報(家族や趣味など)を伝えることができる。	前もって発話することを留意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単な意見を言うことができる。	前もって発話する事を用意した上で、限られた身近なトピックについて簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数文で意見を言う。	一連の簡単な語句や文を使って、自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。	写真や絵、地図などの視覚的補助を利用してしながら、一連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生活に直接関連のあるトピック(自分のこと、学校のこと、地域のことなど)について、短いスピーチをすることができる。	使える語句や表現を繋いで、自分の経験や夢、希望を順序だてて、話しをあげながら、ある程度詳しく語ることができる。	短い読み物か短い新聞記事であれば、ある程度の感想や考えを加えながら、あらすじや要点を順序だてて伝えることができる。	ある視点に賛成または反対の理由や代替案などをあげて、事前に用意されたプレゼンテーションの前で流暢に行うことができ、一連の質問にもある程度流暢に対応ができる。	要点とそれに関連する詳細の両方に焦点を当てながら、流暢にプレゼンテーションができ、また、あらかじめ用意されたテキストから自然にはなれて、聴衆が興味のある点に対応してプレゼンテーションの内容を調整し、そこでもかなり流暢に容易に表現できる。	言葉をことさら探さずに流暢に自然に自己表現ができる。社会上、仕事上の目的に合った言葉遣いが、意のままに効果的にできる。自分の考えや意見を正確に表現でき、自分の発言を他の話し手の発言にうまくあわせることができる。	いかなる会話や議論でも無理なくこなすことができ、慣用表現、口語表現をよく知っている。自分を流暢に表現し、細かい意味のニュアンスを正確に伝えることができる。表現上の困難に出会っても、周りの人に気づかれないように修正し、うまく纏うことができる。
		前もって話すことを留意した上で、基礎的な語句、定型表現を用いて、人前で実物などを見せながらその物を説明することができる。	基礎的な語句、定型表現を用いて、簡単な情報(時間や日時、場所など)を伝えることができる。	前もって発話することを留意した上で、日常生活の物事を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単に描写することができる。	前もって発話する事を用意した上で、日常生活に関する簡単な事象を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で描写できる。	写真や絵、地図などの視覚的補助を利用してしながら、一連の簡単な語や文を使って、身近なトピック(学校や地域など)について短い話をすることができる。	一連の簡単な語句や文を使って、意見や行動計画を、理由を挙げて短く述べることができる。	自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語ることができる。	自分の関心事であれば、社会の状況について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表し、聴衆から質問ができれば相手に理解できるように答えることができる。	ディベートなどで、そのトピックが関心のある分野のものであれば、論拠を並べ自分の主張を明確に述べることができる。	ディベートなどで、社会問題や時事問題に関して、補助的観点や関連事例を詳細に加えながら、自分の視点を明確に展開することができる。話を続けることができる。		

June21,2013

	レベル	Pre-A1	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2	B2.1	B2.2	C1	C2
書くこと		アルファベットの 大文字・小文字、 単語のつづりを ブロック体で書 くことができる。	住所・氏名・職 業などの項目が ある表を埋める ことができる。	簡単な語や基礎 的な表現を用い て、身近なこと (好き嫌い、家 族、学校生活 など)について 短い文章を書 くことができる。	自分の経験につ いて、辞書を用 いて、短い文 章を書くことが できる。	日常的・個人的 な内容であれば 、招待状、私 的な手紙、メモ 、メッセージ などを簡単な英 語で書くことが できる。	身の回りの出 来事や趣味、 場所、仕事な どについて、個 人的経験や自 分に直接必要 のある領域で の事柄であら ば、簡単な描 写ができる。	自分に直接関 わりのある環 境(学校、職 場、地域など) での出来事を 、身近な状況 で使われる語 彙・文法を用 いて、ある程 度まとまりの あるかたちで 、描写するこ とができる。	新聞記事や映 画などについ て、専門的で ない語彙や複 雑でない文法 構造を用いて 、自分の意見 を含めて、あ らすじをまと めたり、基本 的な内容を報 告したりする ことができる。	自分の専門分 野であれば、 メールやファ ックス、ビジ ネス・レター などのビジ ネス文書を 、感情の度合 いをある程度 含め、かつ用 途に合った適 切な文体で、 書くことが できる。	自分の専門分 野や関心のある 事柄であれば 、複雑な内容 を含む報告書 や論文などを 、原因や結果 、仮定的な状 況も考慮しつ つ、明瞭かつ 詳細な文章で 書くことが できる。	いくつかの視 点を示して、 明瞭な構成 で、かなり詳 細に自己表現 ができる。自 分が重要だ と思う点を強 調しながら、 手紙やエッセ イ、レポート で複雑な主題 について書く ことができる 。読者を念頭 に置いて適切 な文体を選 択できる。	明瞭で流暢な 文章を適切な 文体で書くこ とができる。効 果的な論理構 造で事情を説 明し、その重 要点を読み手 に気づかせ、 記憶にとどめ させるよう、 複雑な手紙、 レポート、記 事を書くこと ができる。仕事 や文学作品の 概要や評論を 書くことが できる。
		単語のつづり を1文字ずつ 発音されれば 、聞いてその とおり書くこ とができる。ま た書いてある ものを写すこ とができる	自分について 基本的な情報 (名前、住所 、家族など)を 辞書を使えば 短い句また は文で書くこ とができる。	簡単な語や基礎 的な表現を用 いて、メッセージ カード(誕生日 カードなど)や 身近な事柄に ついての短い メモなどを書 ける。	趣味や好き嫌 いについて複 数の文を用い て、簡単な語 彙や基礎的な 表現を使って 書くことが できる。	文と文をand 、but、because などの簡単な 接続詞でつな げるような書 き方であれば 、基礎的・具 体的な語彙。簡 単な句や文を 使った簡単な 英語で、日記 や写真、事物 の説明文など のまとまりの ある文章を書 くことができる。	聞いたり読ん だりした内容 (生活や文化の 紹介などの説 明や物語)であ れば、基礎的 な日常生活語 彙や表現を用 いて、感想や 意見などを短 く書くことが できる。	身近な状況で 使われる語彙 ・文法を用い れば、筋道を 立てて、作業 の手順などを 示す説明文を 書くことが できる。	物事の順序に 従って、旅行 記や自分史、 身近なエッセ イなどの物語 文を、いくつか の段落で書く ことができる 。また、近況 を詳しく伝える 個人的な手紙 を書くことが できる。	そのトピック について何か 自分が知って いれば、多く の情報源から 統合して情報 や議論を整理 しながら、そ れに対する自 分の考えの根 拠を示しつつ 、ある程度の 結束性のある エッセイやレ ポートなどを 、幅広い語彙 や複雑な文法 構造を用いて 、書くことが できる。	感情や体験の 微妙なニュア ンスを表現す るのだけでなく 、重要点や補 足事項の詳細 を適切に強調 しながら、そ れら、筋道だ った議論を展 開しつつ、明 瞭で結束性の 高いエッセイ やレポートな どを、幅広い 語彙や複雑な 文法構造を用 いて、書くこ とができる。	いくつかの視 点を示して、 明瞭な構成 で、かなり詳 細に自己表現 ができる。自 分が重要だ と思う点を強 調しながら、 手紙やエッセ イ、レポート で複雑な主題 について書く ことができる 。読者を念頭 に置いて適切 な文体を選 択できる。	明瞭で流暢な 文章を適切な 文体で書くこ とができる。効 果的な論理構 造で事情を説 明し、その重 要点を読み手 に気づかせ、 記憶にとどめ させるよう、 複雑な手紙、 レポート、記 事を書くこと ができる。仕事 や文学作品の 概要や評論を 書くことが できる。

June 21, 2013



2013 年春スタート!

TOEFL スコアアップと留学準備のための集中英語コース

INTENSIVE COURSES FOR TOEFL®

2013 年は同志社グローバル元年

今、世界に存在する複雑な問題について主体的に考え、解決に向けて行動する「グローバル人材」が必要とされています。同志社大学は、2013 年 4 月より、グローバル人材を育成するプログラムを開始します。外国語による専門科目講義の実施・外国語能力向上プログラムの新設・グローバル人材関連科目の開講・日本最大級のラーニングcommons（最新の機器を備えた、創造力を刺激する学習空間）の開設など、グローバル人材育成のための新しいサポート体制が整いました。2013 年度入学生の皆さんはその記念すべき一期生です。



◀ラーニングcommons
(今出川校地良心館)

知識とその使い方の両方を習得できるコースデザイン

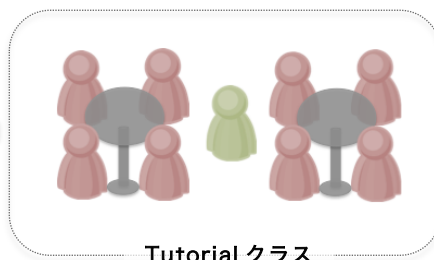
Intensive Courses for TOEFL は、TOEFL 受験に必要な知識を養う Practice と、その知識を留学先で実践するためのスキルを磨く Tutorial の 2 科目から構成されています。

知識はあるのに使えない、実践したいけれど知識が足りない、という
外国語学習につきもののジレンマを解消します。



Practice クラス

TOEFL ITP テストで求められる
3 技能 (Listening・Grammar・
Reading) の訓練を中心に、
たくさんの実践問題を解きながら
スコアアップを目指す



Tutorial クラス

英語での学術活動に必要な深い
思考・発想のためのテクニック、
アイデアを的確に人に伝えるための
プレゼンテーションやアカデミック
ライティングのスキルを演習する

履修について

本コースに参加する方は、必ず Intensive Courses for TOEFL (Practice) と Intensive Courses for TOEFL (Tutorial) の 2 科目をセットで履修してください。Practice は 45 分×週 2 回もしくは 30 分×週 3 回という変則的なペースで行われます。Tutorial は 90 分×週 1 回です。いずれも半期完結型で、不合格・履修中止の場合、再履修はできません。